

陸前高田市総合計画審議会 第3回分科会（教育民生） 議事録

日時：平成30年9月19日(水) 16:00～18:00

場所：陸前高田市消防防災センター 2階 研修室

【委員】

各基本政策に掲げられている市民満足度に関する指標について、現状値が高いのか低いのか市民は分からない。また、現状値が低いのであれば、どのように取り組んでいくか具体的に示し、市民に理解してもらうことが重要である。

【委員】

陸前高田で重要なのは高齢化と人口減少と思われるが、市民満足度調査の結果と連動していない。また、基本政策20のワーク・ライフ・バランスに関する指標について、もっと別なものを設定してほしい。

●基本政策4（地域の伝統や文化を大切にする）について

意見等なし

●基本政策5（生涯学習を推進する）について

【委員】

指標の「出前講座、自主企画講座支援事業、公民館講座、大学との連携事業の年間総参加者数」について、講座ごとに設定したほうがよいのではないか。また、講座ごとの参加者数の内訳を教えてほしい。

【教育次長兼生涯学習課長】

講座ごとの目標は設定していない。また、現状値の内訳については追ってお示ししたい。

●基本政策10（自然環境の保全に努める）について

【委員】

「現状と課題」の欄に「河川や急傾斜地の保全が急務となっており、土砂災害や洪水などの発生を抑制するとともに」という記載があるが、「基本政策の達成に向けて」の欄や指標に関連する内容が記載されていない。

【企画部長兼企画政策課長】

産業建設分科会で御議論いただいている基本政策1の「生活道路・交通環境を整備する」において、ハード整備について記載している。

【民生部長兼地域福祉課長】

他の基本政策の指標と連動させる方法も考えられる。

●基本政策 11（ごみの減量と資源の活用を図る）について

意見等なし

●基本政策 12（安心して子どもを産み育てられる環境を整える）について

【委員】

指標の「年間出生数」について、現状維持の目標値は寂しいので見直してほしい。

【民生部次長兼保健課長】

総合的・効果的な施策を講じなければ出生数の増加は困難であるが、御意見があれば見直しを検討したい。

【委員】

子どもを産み育てる環境に満足している人の割合の現状値が 41 パーセントとなっている主な要因としては、医療・子育て・教育の環境が不十分であることが考えられる。例えば待機児童数や学力の向上など、今後の子育て対策に光を当てられるような象徴的な指標が 1 つでもあればよい。また、就職等のため市外から転入する人向けの住宅を確保するための施策も必要である。

【委員】

育児で忙しい女性が育児以外に生きがいを見つけられる場所づくりが必要であり、ライフステージを表す指標も重要と思われる。

●基本政策 13（一人ひとりを大切にした学校教育を推進する）について

【委員】

指標の「いじめ解消率」について、5 年後から 100%にすることはどうか。

●基本政策 14（子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成する）について

意見等なし

●基本政策 15（家庭や地域の教育力を高める）について

意見等なし

●基本政策 16（安全・安心な学校教育環境を整える）について

意見等なし

●基本政策 17（共生のまちづくりを推進する）について

【委員】

指標に「介護予防教室の年間参加延べ人数」とあるが、「介護予防教室の開催回数」に見直したほうがよいのではないか。

●基本政策 18（市民の健康づくりを推進する）について

【委員】

指標に「65 歳以上の要介護の認定者の割合」とあるが、介護予防に関する目標を設定してはどうか。

●基本政策 19（安心できる医療・介護・福祉体制を整える）について

【委員】

指標に「在宅医療介護連携センター『みんなの相談室』相談件数」とあるが、相談件数ではなく、在宅医療介護サービスを受けることに関する指標を設定してはどうか。

●基本政策 20（仕事と生活の調和を図る）について

【委員】

講演会等参加者数や女性委員の登用率といった指標では弱い。また、ワーク・ライフ・バランスが不十分なのは女性や子育て世代の母親であり、キャリア復帰を諦めている人も多い。パソコンのスキルやテレワークなど女性のキャリア支援の施策について前向きに検討いただくとともに、女性のキャリア支援の取組数などについて指標を追加いただきたい。

【委員】

母子家庭への就労支援に関する指標の設定について検討いただきたい。

（以上）